

平成28年度 事業報告

創立50周年を迎えた歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り文化の発展に寄与するため、音楽監督小泉和裕を新たに迎え、公演内容の充実を図り次のような演奏事業活動を行った。

1. 演奏事業

(1) オーケストラ演奏事業

① 定期演奏会 <28回>

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指し、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて、8月を除く毎月、年11回22公演を創立50周年記念シリーズ定期演奏会として開催した。

日本特殊陶業市民会館では、市民会館名曲シリーズとして、創立記念日と前日に開催したバースデーコンサートはじめリクエストコンサートなど年4回、及び恒例の第九コンサートを年2回の計6公演開催した。

② 巡回演奏会 <13回>

地方自治体等の依頼により市町村において開催した。

③ 巡回演奏会（特別公演）<5回>

50周年の特別公演として、大阪・東京をはじめ、浜松・岐阜・四日市の中部3都市の計5都市での公演を行い、存在感を示した。

④ 移動音楽教室 <41回>

小・中・高校生を対象に音楽鑑賞教室を開催した。

⑤特別演奏会 <11回>

コバケン・スペシャルやボブ佐久間によるクリスマス・スペシャル・コンサートや同じく50周年を迎えた愛知県立芸術大学とのジョイントコンサートのほか、しらかわシリーズ、豊田市ジュニアオーケストラと共演する豊田市コンサートホール・シリーズ、並びに障がいのある方などを対象とした福祉コンサートなどを開催した。

⑥依頼演奏会 <35回>

企業・団体等からの依頼により開催した。

合 計 133回

(2)アンサンブル(小編成)事業等

①サロンコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を年14回開催した。

②まちかどコンサート

市民が集まる場所で、より名フィルが親しまれるよう開催している「まちかどコンサート」を、名古屋市主催のイベント等と連携して実施した。

③依頼によるアンサンブル(小編成)演奏

企業や団体等からの依頼による「アンサンブル(小編成)」の演奏活動を実施した。

④公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルへの認知度を高めるため「公開リハーサル」を年12回開催した。

⑤楽団員講師派遣事業

小学校の授業に楽団員が数名講師として訪問し、演奏とともに音楽の魅力などを伝えた。

2. 音の向上基金事業

オーケストラ演奏事業の充実を図るため、「音の向上基金」を活用して指揮者4名、ソリスト2名、首席客演コンサートマスター1名の招聘を行った。

① 指揮者の招聘

名誉指揮者モーシェ・アツモン、名誉客演指揮者ティエリー・フィッシャー並びにアントニ・ヴィット、ガエタノ・デスピノーサを招聘した。

② ソリストの招聘

ヴァイオリンのバイバ・スクリデ、イリア・グリーンゴルツを招聘した。

③ 首席客演コンサートマスターの招聘

しらかわシリーズにウィーン・フィルのコンサートマスターであるライナー・ホーネックを招聘した。

3. エール基金事業

楽団員の演奏技術の向上を図るため、楽器の購入資金を貸し付けた。

4. 創立50周年記念事業について

定期演奏会に、世界的巨匠であるミハイル・プレトニョフとゲルハルト・オピッツを招聘したほか、特別公演として東京・大阪はじめ5都市で公演を行った。

また、50周年記念式典を催したほか、記念誌の制作、ファンとの交流会、50周年記念グッズの製作など、広報宣伝に努めた。